

うきは市 地域住民説明会 山春地区

日時：9月24日（水） 19時～20時

場所：山春コミュニティセンター

参加者：24人

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山C（山本、濱松）

■質疑応答

- 施設老朽化が問題となっているが、市としてコスト確保が難しくなっているものと思われる。そのため、コストカットが大きな目的なのか。小学校ごとに特色があるが、一体化することで特色が消えてしまうのではないか？
→コストの問題があるのはその通りで、新築や改築等の対応をする必要がある中、4校を維持することにはかなりの財政負担がある。但し、子ども達の良好な学習環境の確保が重要であると考えており、これまで積み上げてきた地域の活動は可能な限り継続する方向で考えている。
- より良い教育環境とはどういうことか。
→小規模校ならではのきめ細かな良さがあると認識しているが、説明の通りの学校規模での切磋琢磨した教育環境の確保が、将来の環境のための重要な視点であると考える。
- 吉井中学校と浮羽中学校の統合の検討はあったのか。また、吉井町域も学校の築年数が古く浮羽町域と似たような状況だが、吉井町域でもいすれは統廃合を行うのか。
→吉井と浮羽を統合すると中学校が吉井に行く可能性があるが、今回の計画は、浮羽町域に中学校を残すというプランである。地域の方の協力による教育活動は残していく予定である。
- なぜ御幸小に3小学校を集約するのではなく、浮羽中学校に一体して建てるのか。
→モデルスタディで検討した結果、敷地面積としては浮羽中学校の方が広く、関係者等のご意見から必要とされる諸室や規模を収めるには現浮羽中学校程度の敷地規模が必要なことがわかった。また、各学校からの通学距離も鑑み、中心にある浮羽中学校敷地内が良いとの方向性になった。
- 地域にとってこのような大きな事業の説明会が、このくらいの参加者で良いのか。
→今後いろいろな形で情報発信をしていく予定である。
- 学校跡地活用はどのように検討しているのか。
→学校跡地活用も考え、今後、担当部署と然るべき委員会等で意見をいただきたいと考えている。
- 何のコンサルタントが来ているのか。
→建築計画や分析等を行うコンサルである。
- この計画の最終的な裁決はうきは市長がするのか。
→今日頂いたご意見は検討委員会に持ち帰り、検討委員会にて協議の上、方向性をまとめて、教育委員会に検討委員会の意見を提出することになる。それらを踏まえて、市全体での考えを決め、議会での承認を得て決定することになる。

- ・ もう一度市民への説明の場があるのか。本当に市全体の意見となっているのかを確かめる必要がある。
→現在、検討委員会の方向性までしか決まっていないが、決定時には住民説明会を開催する検討はしたいと考えている。参加者数やいただいた意見を鑑みて、開催の必要性を判断する。
- ・ 規模が小さい学校は複式学級になる運命があるが、子ども達にはたくさんの人数の中で刺激を受けて育ってほしいと思っている。小中一貫校の発足に関わったことがあるが、最大の利点は小学生と中学生が同じ空間にいることであると感じる。中学生が小学生に優しくなり、小学生は中学生にあこがれる。そのような地域コミュニティの形成を行っていただきたいと考える。
自分の学校がなくなることは寂しいが、全国の流れや情報も集めながら、義務教育学校に近い小中一貫校を目指すことが望ましいと考える。(コメント)
- ・ 向かうところは、校長先生が2人いる小中一貫校ということ。
→校舎は1つになるが、小中一貫校と義務教育学校のどちらにするのかは、今後の検討課題である。

以上